

平成 22 年度 決算報告書

国立大学法人旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,579	5,579	0	
施設整備費補助金	532	641	109	(注 1)
補助金等収入	150	827	677	(注 2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	34	1	
自己収入	16,926	17,345	419	
授業料、入学料及び検定料収入	639	631	△ 8	
附属病院収入	16,026	16,373	347	(注 3)
雑収入	261	341	80	(注 4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	741	987	246	(注 5)
引当金取崩	0	7	7	
長期借入金収入	368	368	0	
貸付金回収	3	5	2	
承継剰余金	246	0	△ 246	(注 6)
計	24,578	25,793	1,215	
支出				
業務費	19,865	20,503	638	(注 7)
教育研究経費	3,692	3,561	△ 131	
診療経費	16,173	16,942	769	
一般管理費	1,238	987	△ 251	(注 8)
施設整備費	933	1,031	98	(注 9)
補助金等	150	827	677	(注 10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	741	978	237	(注 11)
貸付金	63	70	7	
長期借入金償還金	1,588	1,588	0	
計	24,578	25,984	1,406	
収入－支出	0	△ 191	△ 191	

○予算と決算の差異について

(注 1) 施設整備費補助金については、総合研究棟改修(Ⅱ期)事業の一部が翌年度に繰越となったこと及び平成 21 年度補正事業として交付された微細手術技術開発システムが平成 22 年度に繰越となったことにより、予算金額に比して決算金額が 109 百万円多額となっております。

- (注2) 補助金等収入については、感染症予防事業費等国庫負担(補助)金の増及び平成21年度補正事業として交付された設備整備費補助金が平成22年度に繰越となったことにより、予算金額に比して決算金額が677百万円多額となっております。
- (注3) 附属病院収入については、NICU及びGCUの増床、PET-CTの平年度化やCT・MRIの増設、救命救急センターの取得、診療報酬改定に伴う手術料や基本診療料の増により、予算金額に比して決算金額が347百万円多額となっております。
- (注4) 雑収入については、主として保険金収入、不用物品売払代収入、科学研究費補助金間接経費の受入れ増により、予算金額に比して決算金額が80百万円多額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階で予定していなかった国(の各組織、特殊法人)及び民間からの受託研究や寄附金の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が246百万円多額となっております。
- (注6) 承継剰余金については、予算段階では見込んでいた医療訴訟に係る損害賠償が、1審での勝訴により、予算金額に比して決算金額が246百万円少額となっております。
- (注7) 業務費については、年度途中での計画変更により、予算金額に比して決算金額が638百万円多額となっております。
- (注8) 一般管理費については、(注6)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が251百万円少額となっております。
- (注9) 施設整備費については、(注1)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が98百万円多額となっております。
- (注10) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が677百万円多額となっております。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が237百万円多額となっております。